

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-513
研究課題名 入院を契機に服薬管理能力が不十分だと判明したケースについての検討
研究期間 西暦 2011年 2月（倫理委員会承認後）～ 西暦 2012年 2月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 _____） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録のデータ・服薬管理レポート ）
上記材料の採取期間 西暦 2007年 4月～ 2011年 1月
意義、目的 外来での診療においては服薬管理能力が十分にあると考えられていたにもかかわらず、実際には十分に管理できていない場合を経験することがある。高齢者の服薬アドヒアランスに影響を及ぼす因子については過去に複数の研究報告が存在するが、薬剤を処方する側がそれらを確実にとらえられているかどうかについては十分な報告が存在しない。高齢者の服薬アドヒアランスに関連する因子に加えて、それらの因子を正確に把握するために注意しなければならない点を認識することが重要である。本研究では患者の服薬管理能力の不足について、処方する側の認識が必ずしも十分ではなかったケースの検討を通じ、服薬管理能力についての把握が足りなくなってしまうのはどのような場合か明らかにすることを目的とする。
方法 2007年4月より2011年1月までの間に入院となった患者の記録を調査対象とする。入院時に服薬状況を薬剤師が確認しレポートを作成しているが、このレポートを主な調査対象とし、外来での処方状況・入院時の服薬状況を確認する。これらに影響を及ぼす可能性のある因子について外来・入院診療録を調査して明らかにしていく。
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学加齢医学研究所加齢老年医学研究分野（東北大学病院老年科） TEL: 022・717・7182 （担当） 富田 尚希